

パソコンいわくら教室新聞

多くの方が利用しているワードやエクセルの統合ソフトのオフィスソフト。機能修正や新機能の追加など更新が行われています。最近追加された機能は描画です。

描画とは？

描画とは、Office 2019のバージョンから追加された機能です。ワードやエクセルのメニューに「描画」と表示されたものがないでしょうか。（2016より古いバージョンでは利用できません。最新バージョンは2021）

さて、その「描画」でできることは、手書きのペンで描くように、文字や図形が描画できる機能です。

描く方法は、マウスやタッチパッドを利用して描画します。デジタルペンなどがあれば、簡単に描くこともできるかもしれません。画面がタッチスクリーンに対応していればより描画しやすいでしょう。

ワードなどでチラシなどを作成するとき、使用する文字は用意されているフォントを使用することが一般的ですが、場合によっては手書き風の文字を使いたい場合もあります。そんなときにこの「描画」機能が便利です。

用意されているツールは、左から選択ツール、消しゴム、ペン、蛍光ペン、アクションペン、です。ペンは文字通りペンです。蛍光ペンは半透明のある色で描画されますので、重要箇所の文字上をラインマーカーで印をつける様に使えます。アクションペンは文字を選択したり改行する機能で使えますが、従来通りキーボードやマウスで行うほうが簡単かもしれません。

消しゴムは描画した一部を消したり、全て消す機能があります。描画したものは図形の扱いになります。

使い方を覚えていこう

* 選択ツール

クリックした図の選択と、ドラッグで囲んだ図を選択する2種類があります。



* ペン

太さと色を選択して描画します。ペンは2つ用意されています。異なる色や太さに設定し、使い分けると良いでしょう。右側のVをクリックすると設定画面が表示されます。



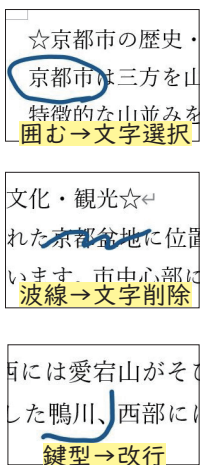
* 蛍光ペン

丸や四角を描画すると整った図形に変換してくれます。今のところ単純な図形にしか変換できないようです。変換後は塗りつぶしも設定できるようになります。



* アクションペン

入力されている文字の上をなぞることでラインマーカーのように使用できます。色などの設定はペンと同様です。



選択、改行など様々な操作ができます。描画後は図形としての扱いとなるため「図形の形式」メニューで枠線の調整や、図形に変換された描画は塗りつぶしの設定もできます。

今までの図形の作成とは一味違う図形が作成できます。完全なフリーハンドですのでうまく描画するには慣れが必要です。新しい機能です。ぜひ使ってみましょう。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

